

笠岡市立白石中学校 いじめ防止基本方針

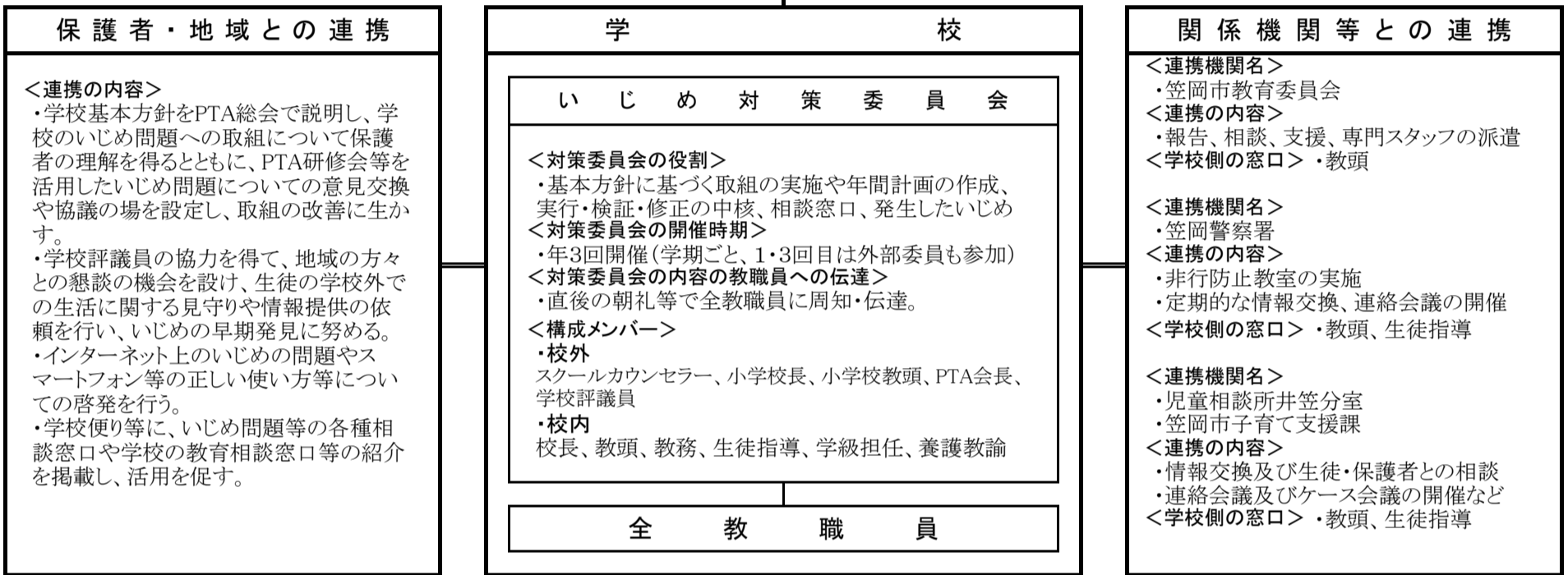
平成29年4月 改定

いじめに関する現状と課題

- ・本校は極小規模校であり、生徒たちは素朴で、落ち着いた学校生活を送っている。また、周囲の期待に応えようと物事に一生懸命取り組んでいる。気心の知れた間柄で、自分の気持ちを伝えなくても互いの思いをわかり合える反面、固定化された人間関係の中で序列化が見られたり、なれ合いによる生活で集団としての向上心が見られなかったりしている。
- ・友人関係において、既成概念や固定観念でとらえる傾向がある。
- ・一人ひとりを尊重し、互いに認め合い、支え合う生徒の育成を目指している。
- ・現在、全教職員でいじめ問題への対応を行っているが、未然防止の取組をより強く推進するためには、教職員の一層の連携が必要である。また、いじめの早期発見、適切な対処のための教職員研修の充実も必要である。

いじめ問題への対策の基本的な考え方

- ・学校をあげた横断的な取組を推進するため、いじめ対策委員会には、全教職員が参画し、それぞれの立場から実効的ないじめ問題の解決のための取組を行う。また、校内研修や保護者対象の講演会を実施し、生徒への情報モラルについての教育の推進を図る。
 - ・いじめの未然防止に向けた生徒の主体的な活動を進めるとともに、誰もが活躍できる機会を設けることで、自己有用感や充実感を感じられる学校づくりを進める。
 - ・いじめの早期発見のためにアンケートを実施し、教育相談週間との連携が取りやすい実施時期の工夫を行うとともに、得られた情報を教職員間で共有を図る。また、小学校との連携を図り、協力を仰ぐ。
- <重点となる取組>
- ・SNSの利用やネット上のいじめについての認識を深め、いじめの認知能力やその後の対応能力向上のための教職員研修を夏季休業中に実施する。
 - ・「いじめについて考える週間」において、生徒会が実施する取組を支援し、いじめを許さず、トラブルを自分たちで進んで解決しようとする意識の高揚を図る。
 - ・各学年で情報モラルに関する授業を毎年計画的に実施する。



学 校 が 実 施 す る 取 組

①	<p>(いじめの防止)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(教員研修) 教職員の指導力向上のための研修として、携帯電話事業会社から講師を招聘し、生徒のネット利用の状況と指導上の留意点についての研修会を行う。 ・(生徒会活動) いじめについて考える週間において生徒会主催の、生徒自らが考え企画するいじめ防止の意識を高めるための取組を進める。 ・(居場所づくり) 日頃の授業や行事等の特別活動の中で、誰もが活躍できる機会を設定することで、自己有用感や充実感を感じられる学校づくりを進める。 ・(情報モラル教育) ネット上のいじめを防止するために、情報機器の利便性ととも、情報を発信する責任を自覚し、適切に利用できる力を身に付けるための情報モラルに関する授業を、各学年において1時間行う。
②	<p>(早期発見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(実態把握) 生徒の実態把握のためのアンケートを学期ごとに実施し、年3回の教育相談を行うことで、生徒の生活の様子を十分把握し、いじめの早期発見を図る。また、各担任は生徒との生活ノートの交換を密にすることで、生徒とのふれあいを深め、生徒の生活の様子を把握する。 ・(相談体制の確立) 相談担当の教職員を生徒に周知すると同時に、全ての教員が生徒の変化を見逃すことなく、きめ細かく声かけを行い、生徒がいつでもいじめを訴えたり、相談したりできるような体制を整える。 ・(情報共有) 生徒の気になる変化や行為があった場合、5W1Hの記録用紙をつくり、教職員間でいつでも早急に情報共有できる体制をつくる。また、小学校との連携を図り、協力を仰ぐ。 ・(家庭への啓発) 積極的ないじめの認知につながるよう、家庭での生徒の様子を見つめるためのポイントを載せたパンフレットを作成・配付して、家庭におけるいじめへの対応に関する啓発を行う。また、小学校との連携を図り、協力を仰ぐ。
③	<p>(いじめへの対処)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(いじめの有無の確認) 本校生徒がいじめを受けているとの通報を受けたり、その可能性が明らかになったときは、速やかに、いじめの事実の有無の確認を行う。 ・(いじめへの組織的対応の検討) いじめへの組織的対応を検討するため、いじめ対策委員会を開催する。 ・(いじめられた生徒への支援) いじめがあったことが確認された場合には、いじめられた生徒を最後まで守り抜くことを最優先に、当該生徒及びその保護者に対して支援を行う。 ・(いじめた生徒への指導) いじめた生徒に対しては、いじめは絶対に許されない行為であり、相手の心身に及ぼす影響等に気付かせるなど、適切かつ毅然とした対処を行うとともに、当該生徒の周囲の環境や人間関係など、その背景を十分に把握し、保護者の協力を得ながら、健全な人間関係を育むことができるよう指導を行う。